



4月1日 千里山・佐井寺地域に 地域活動支援センターがオープン

障がいのある人に創作、生産活動の場を提供したり、社会との交流の機会を提供する場所です。利用方法など詳しくは、市ホームページを確認してください。所在地活動支援センター赤レンガ(千里山月が丘6・8)。障障がい福

社室(TEL)6384・1348
FAX)6385・1031。



同センターのページ



4月からチャレンジショップゆめちか 第8期生「クレープ・ガオー」がオープン

市内で起業をめざす人が、市役所の地下1階で飲食店の経営にチャレンジする取り組みです。「クレープ・ガオー」では弁当やクレープなどを販売します。

みです。「クレープ・ガオー」では弁当やクレープなどを販売します。

岡地域経済振興室(TEL)617
0・2370 FAX)6384・1292。

3月17日 吹田市情報発信プラザ 「Inforest」がリニューアルオープン

「Inforest」は、食、美容、アート、スポーツ、遊びなど、さまざまなジャンルを通して、吹田の魅力を感じることができる場所に生まれ変わりました。4月は、壁面アートを手掛けた

「Inforest」は、食、美容、アート、スポーツ、遊びなど、さまざまなジャンルを通して、吹田の魅力を感じることができる場所に生まれ変わりました。4月は、壁面アートを手掛けた



イメージ画像



市長コラム No.80

こもれび通り

ギフト

後藤圭二



コラムの音声版はこちら

「こもれび通り、うれしく読ませてもらっています。」80歳代も後半となる恩師からは、毎月市報の感想が届きます。細字の万年筆で「今回の文章はとっても良かったですね」と。いくつになっても教え子の私、先生に褒められるほどうれしいことはありません。

52年前、千里第一小学校で、手のかかるイチビリ少年だった私に、先生は真っ向から愛情を注ぎ続けてくれました。そして今も教え子として見守り続けてくださっている奇跡に、感謝しかありません。

何十年ぶりでしょうか。再会した際に「後藤君に謝らなければなりません。私はあなたを5回ひ

どく叱ってしまいました」と、その5回の理由を一つ一つ説明されたのです。もちろん、私は当時のことなどすっかり忘れていました。先生が、半世紀も、私を叱ってしまったことを心の痛みとして持ち続けておられたことに、何の言葉も見つからず、ただただぐっと涙をこらえることしかできませんでした。

吹田市は「明日も行きたい、と思える学校に」を合言葉に、吹田の教育の新たな未来を創る決意をしました。私が頂いたこのギフトを、今の子供にも、と強く思います。

先生、教え子の大事な仕事をまだまだ見守っていてくださいね。

